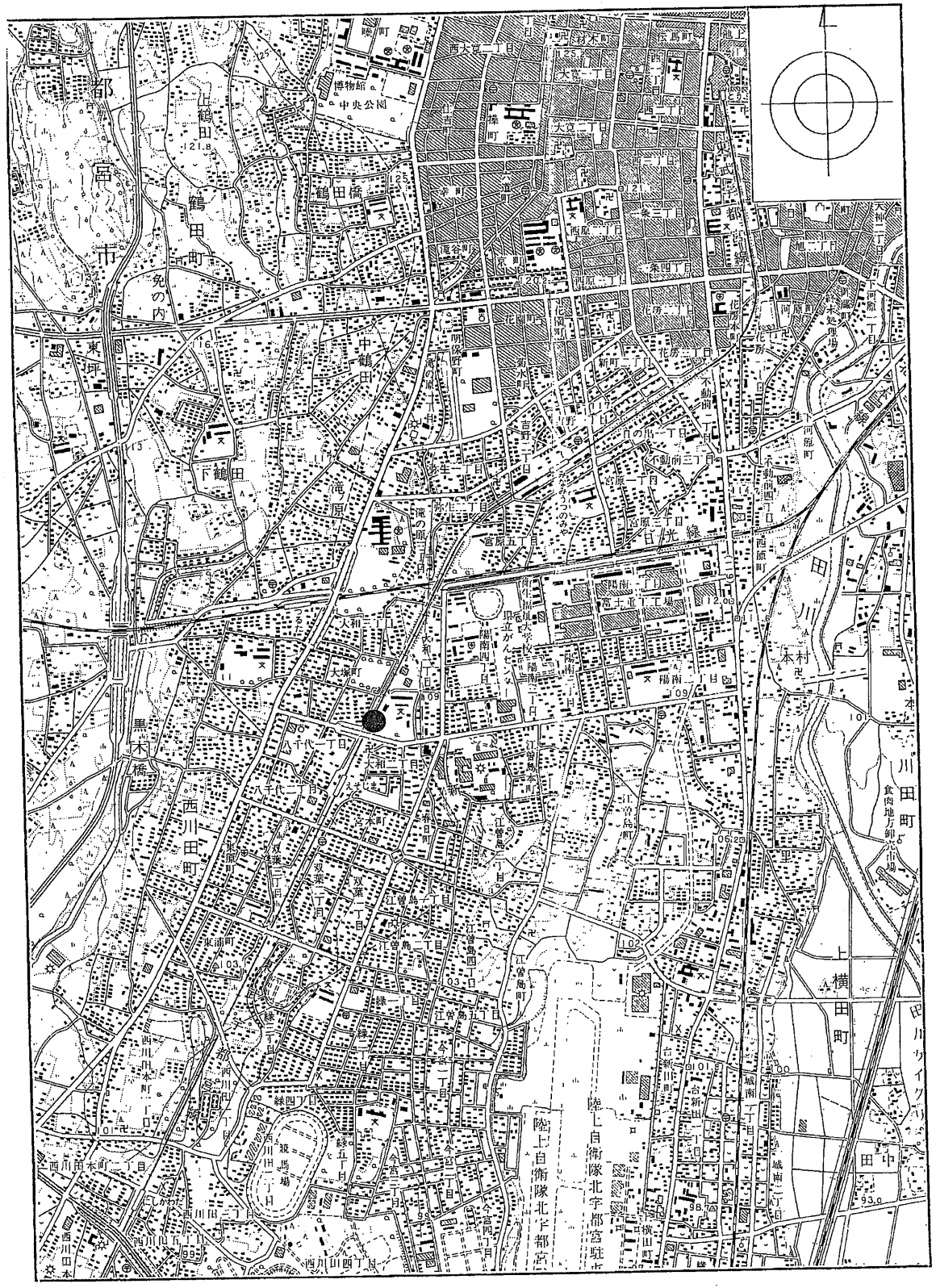
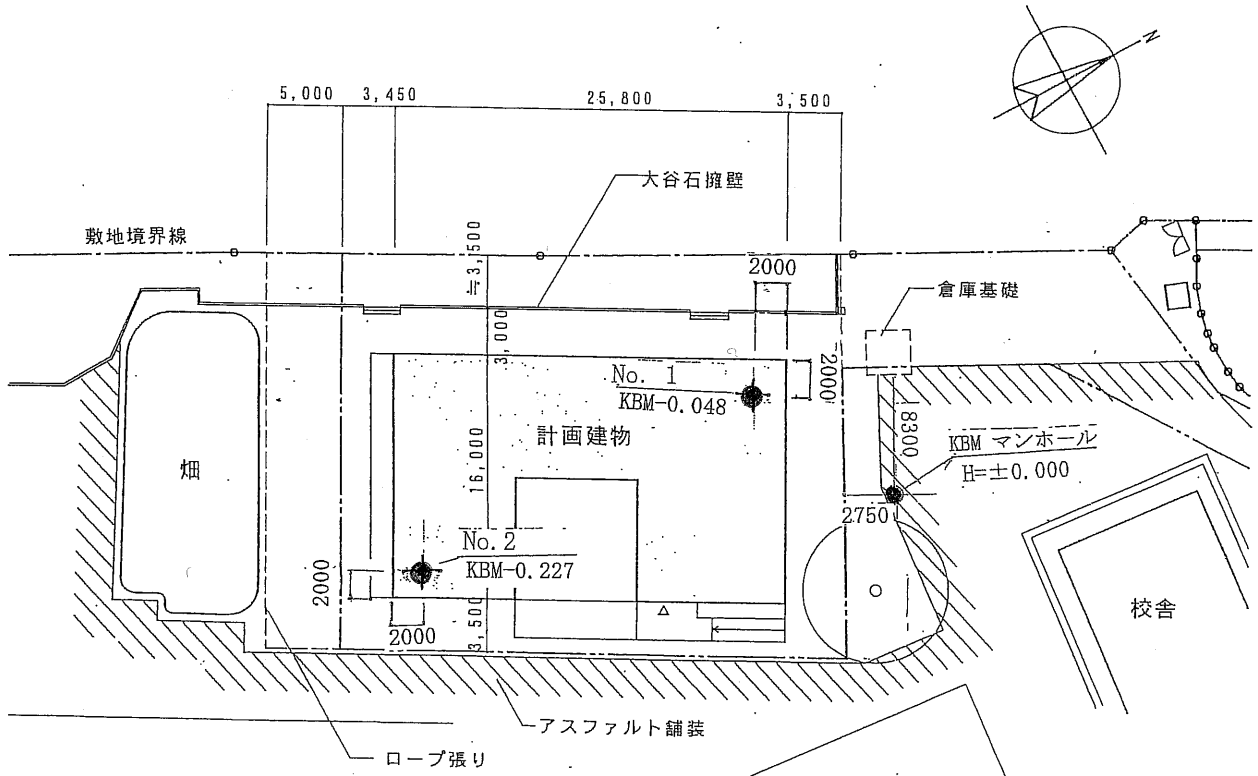


調査位置案内図 縮尺1:25,000

● 調査位置



調査位置図 S=1:500



配置図 S 1 : 500

陽南地区学習供用施設新築工事

ボーリング柱状図

調査名 陽南地区学習供用施設新築工事に伴う地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1		調査位置	宇都宮市大和1丁目10-15			北緯		
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成16年12月17日～16年12月20日			東経	
調査業者名	株式会社田村忠設計事務所 電話(028-634-4556)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	KBM -0.048m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配 鉛直90° 水平0°	使用機種	試錐機 D1-C48R-S1	ハンマー 落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	10.22m	度	向		エンジン	NDF-10	ポンプ	BG-34	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	層深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N値							
1	-1.10	1.05	1.05		盛土	暗茶			シルト主体。碎石φ5~30mm程度の礫混じる。0.50mより粘性土混じり次第に多くなる。	12/21	1.15	1/14	1/8	2/13	4/35	3.4				
2	-1.70	0.60	1.65		ローム	淡褐	軟らかい		均質なローム。φ2mm程度の軽石粒子少量混じる。粘性、含水小位。下部砂分含む。	12/22	2.15	1/20	1/20	2/40	1.5					
3	-2.80	1.10	2.75		軽石	黄褐	軟らかい		鹿沼軽石層。φ1~5mm程度の粒子。所々スコリヤ、有機物混入する。含水小~中位。		2.55	1/15	1/7	2/11	4/33	3.6				
4					ローム	褐	軟らかい	中位	均質なローム。含水小位。粘性小~中位。有機物スコリヤ混入。下部砂分含む。		3.15	1/15	1/7	2/11	4/33	3.6				
5	-5.05	2.25	5.00								3.48	1/13	2/7	6/30	6					
6											4.15	1/13	2/7	6/30	6					
7											4.45	14	14	11	39/30	39				
8					砂礫	灰褐			φ5~30mm程度の面円~亜角礫主体。マトリックスは中粗砂主体に細粒度混じる。6.50m付近よりφ40~50mm内外の礫やや多くなる。含水小~中位。		5.15	15	15	20	50/30	50				
9											5.45	15	15	20	50/30	50				
10	-10.27	5.22	10.22								6.15	19	31/7	50/17	38.3					
11											7.15	18	28	4/1	50/21	71.4				
											7.32	19	31/9	50/19	78.9					
											8.15	18	28	4/1	50/21	71.4				
											8.36	19	31/9	50/19	78.9					
											9.15	50/7			41.8					
											9.34	50/7			41.8					
											10.15	50/7			41.8					
											10.22	50/7			41.8					

